



2026年2月18日

各位

会社名 ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉村 修一
(コード番号: 336A 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 山田 浩司
(TEL. 03-6459-3445)

ダイナミックマッププラットフォームの除雪支援システムの岩手県内での導入事例が「令和7年度 インフラ DX 大賞」にて優秀賞を受賞

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、グループ会社・ダイナミックマッププラットフォーム Axyz(本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 雨谷 広道)が提供する除雪支援システム「SRSS」の岩手県内での導入事例が、「令和7年度 インフラ DX 大賞」にて優秀賞を受賞しましたことをお知らせします。



(左)除雪支援システム「SRSS」製品イメージ (右)「SRSS」使用イメージ

「インフラ DX 大賞」は、インフラ分野においてデータとデジタル技術を活用し、建設生産プロセスの高度化・効率化、国民サービスの向上等につながる優れた実績をベストプラクティスとして横展開を図るため、国土交通省が実施しているものです。

除雪支援システム「SRSS」は、自動運転車にも使われる当社の高精度3次元地図データと高精度な位置情報を組み合わせ、除雪作業のガイダンスを行うものです。道路の形状や道路構造物の位置などの情報をはじめ、投雪禁止場所や要注意箇所などのノウハウを専用の地図に落とし込み、タブレット端末上で道路状況を可視化することで「除雪 DX」を実現しています。

今回のインフラ DX 大賞では、岩手県八幡平市にて、県道の春先除雪に SRSS を県内で初導入した事例が優秀賞を受賞しました。従来、春先除雪のオペレーターには長い経験と技術が必要であったものの、

SRSS の利用により経験の少ない若い世代でも安全に作業を行うことが可能となり、将来の担い手不足の改善が期待できるものとなった点などが評価されました。



(左から)藤根建設株式会社 取締役 藤根 辰矢 氏、国土交通大臣 金子 恭之 氏、株式会社高福組 代表取締役 社長 上野 康平 氏

より具体的な評価ポイントは以下の通りです。

- ✓ 従来は 15～20 年の除雪経験を持つ熟練者の経験と勘に頼っていた、雪の下に隠れた道路の「位置確認」作業が、デジタルデータに基づいた客観的な「見える化」された作業に転換
- ✓ 安全性・施工性の飛躍的な向上、準備工などのコスト縮減、週休 2 日の達成による働き方改革、若手の戦力化による担い手不足改善への期待など、幅広い効果を確認
- ✓ 本事例は建設業界全体のデジタル変革と持続可能性に貢献し、建設業界が直面する高齢化や担い手不足といった構造的な課題に対して、技術を活用した実践的な解決策となり得ると期待される

実際の発表資料は以下、「令和 7 年度 インフラ DX 大賞」の公式ページよりご覧ください。

- 公式ページ: <https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/award/award2025.html>
- 発表資料:
https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/2025award/04_hujinetakahukuyosichuutakahashitakakensotou.pdf

当社は高精度 3 次元データのプラットフォームとして、今後も除雪支援をはじめとするさまざまな業界分野においてイノベーションを創出し、社会課題に貢献します。

■本件に関する問い合わせ

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

メール: ir@dynamic-maps.co.jp

HP: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>